

令和6年度（2024年度）
社会福祉法人いなほ福祉会 いなほ作業所 事業報告

1. 利用登録者数と利用実績（令和7年3月末）

【利用登録者数】 39名

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	23	23	21	23	19	21	23	21	22	20	19	21	256日
延利用人数	713	735	680	705	625	700	767	678	707	634	617	659	8,220人
1日平均	31.0	31.9	32.3	30.6	32.8	33.3	33.3	32.2	32.1	31.7	32.4	31.3	32.1人

令和5年度 延利用人数 8,478人 1日平均 33.2人

2. 職員体制

職 種	配置基準	現 員
管 理 者	1	1
サービス管理責任者	1	1
生活支援員	1	1
職業指導員	1	1 3
目標工賃達成指導員	1	1
調理員		3
送迎員		2
嘱託医	(1)	(1)
計	5名 (1)	22名 (1)

3. 今年度の重点方針

【作業・実践】

- ① 作業の見直しと効率化を図るとともに、利用者が安心して働き、充実感を得られる作業所作りを目指します。

【製パン、製菓部門】

・安定した製造、作業技術と商品力の向上、廃棄を減らす事や働くコミュニケーションに重点をおいてすすめました。衛生管理にも努め、それが感染症の拡大防止や、無駄を出さない取り組みとして効果を発揮し、閉所することなく作業を予定通り運営でき、年度末手当として賃金で還元することもできました。

・利用者とともに、商品の品質向上を目指します。また、衛生に関する意識を高めて、安心安全な商品と職場環境づくりに努めます。

→利用者の中に品質へのこだわりをもって改善しようという意欲が生まれており、職員から利用者、利用者から利用者といった技術を伝えるコミュニケーションが増えました。衛生管理についても向上し、汚す・こぼす・ていねいに扱うなどの行為に注意を払えるようにな

り、無駄を省く生産と働く環境づくりが強化されました。

・販路拡大や販売量の増加にとられるのではなく、無駄な売れ残りや廃棄の削減に取り組むとともに、原材料高騰などの状況も加味して効率よく支出を減らすことに取り組みます。

→無駄を出さない効率の良い製造販売に取り組みだして4年目、さらに大きな効果を発揮しました。

・一昨年度は利用者一律4万円の年度末手当を支給することが出来ました。皆で喜びその取り組みを振り返りながら作業した結果、昨年度はさらなる黒字をあげ、平均一人当たり56,000円という年度末手当を支給することが出来ました。また、一年間働いて得た給料をベースにして比率を割り出し、各自の年間収入に応じた分配とする仕組みを作り、仕事量に見合った還元をする新給与規定にしました。

・物品販売や季節商品の販売などの事業でも衛生的な商品管理と作業を進め、リピーターに満足していただける販売を心がけます。

→季節物品販売については売り上げを伸ばすことは難しかったが、安定して進めることが出来ました。利用者も例年通り商品の仕分け作業に参加しています。近年、優先調達に絡んだ商品販売も順調で、那智勝浦町や一般企業などの注文にも対応することもでき、効率よく収益をあげています。

・利用者や職員など関係者の健康への配慮を怠ることなく、復活しつつある販売イベントや行事参加、店舗営業などについて積極的に進めます。

→那智勝浦町の行事やパン祭りなど、内外のイベントに出店販売し、利用者の社会参加につながる活動促進という意味でも、有意義な取り組みが出来ました。

また、パン店舗については週2回の営業日を定着させており、順調な売り上げを確保できているうえ、販売で余ったパンも受け入れて販売することで、全体として廃棄を出さない販売事業に貢献できました。

※仕事の計画性と効率化を進め、実践に目を向ける職員のゆとりを生み出し、利用者が働く喜びを感じながら、共に安定して働ける作業所としての役割を遂行します。

⇒前年度に続き利用者への工賃還元が十分にでき、働く喜びをより強く実感してもらえたと思います。職員のゆとりを生み出すために、休暇等の事前予定調整を試み、体制確保に努めました。さらなる支援体制確保の工夫を次年度も取り組む必要があると感じています。

②中里出張所と下里出張所では、安心して仕事ができる静かな環境を整え、その時々調子や各自の状況に応じた柔軟な仕事や取り組みの充実を図ります。

→本体の様な大きな集団が苦手な利用者の「静かな環境で過ごしたい」という思いや「自分のペースで出勤したい」といった、一人一人違う多様なニーズを尊重し、精神的に安定して過ごすことができる環境を整えました。

利用者の対応に当たっては、職員も限定して数人の職員が曜日で交代し、できるだけ変化のないよう配慮しています。また、それぞれの特性や課題に対する情報と、個別に対応すること

ができる余力を大事にしながら、各自の年齢や、障害特性に応じた仕事や、活動内容を模索しました。

今後も、出張所の利用者が安心して、自分らしく過ごせるよう、職員がチームとして連携し、また必要に応じて家族や相談支援事業所などの関連機関とも連絡を取り合いながら、丁寧な支援が行えるよう、情報共有と意思統一を行っていきたいと思います。

② 就労支援事業・収支実績

	2022 (R4) 年度実績	2023 (R5) 年度実績	2024 (R6) 年度実績 (見込み)
年間売上金額 (A)	26,640,711円	30,498,958円	31,880,359円
年間経費 (B)	25,519,544円	28,626,089円	29,450,084円
年間利益 (A-B)	1,121,167円	1,872,869円	2,430,275円

③ 工賃支給実績

	2022 (R4) 年度実績	2023 (R5) 年度実績	2024 (R6) 年度実績 (見込み)
平均工賃月額	20,001円	25,772円	26,810円
時給換算額	231円		273円
年間工賃総額	9,760,515円	10,267,535円	10,588,830円
年間支払対象者数	488名	8,478名(延べ利用者数)	8,220名(延べ利用者数)
利益の分配額	基本7,500円/人	基本40,000円/人	基本56,000円/人

(2) 生活支援

作業所実践や諸行事等での利用者・家族の要望（意見）を傾聴し、利用者本位の作業所運営となるよう取り組み、要望（意見）に対しては迅速な対応を行いました。

①土曜日の取り組み

平日は、製パン販売に追われるため、毎月第3土曜日（行事等により他の土曜日に変更有り）を活用し、作業以外の余暇活動を行ってきました。

土曜取り組みは、参加は利用者個々の判断（選択と決定）にゆだねています。興味のある活動内容には参加する等、自身で参加を判断するようになっていきます。多くの利用者が参加したくなるような企画を検討し実施してきました。

実施月	取り組み内容	参加利用者
4/13	パンまつり 【いなほ作業所】	30名
5/18	地元観光 in 串本 【串本】	24名
5/25	つくしんぼ歌謡祭 【体育文化会館】	22名
6/15	ボーリング 【東宝ボール】	21名
8/24	手作りピザ&ナゲット 【いなほ作業所】	22名
9/7	カラオケ 【歌楽】	21名
9/28	バーベキュー 【いなほ作業所】	19名
10/5	パンまつり 【いなほ作業所】	32名

11/16	ボッチャ&カローリング 【旧三川小学校体育館】	17名
	なぎ看護学校文化祭販売 【なぎ看護学校】	2名
11/30	町展バザー出店 【体育文化会館】	2名
12/14	新東スポーツ交流会 【体育文化会館】	28名
12/21	クリスマスランチ会 【いなほ作業所】	17名
1/18	新年会 【太地町白鯨】	26名
2/15	きずなフェス 【丹鶴ホール】	3名
2/22	福祉健康まつり 【那智勝浦町福祉健康センター】	15名
3/22	中華ランチ 【いなほ作業所】	19名
合計	土曜取り組み8回(前年度10回)/その他9回	320名

(令和5年度 380名)

②ハイツの利用

- ・グループホームに対するニーズの実態を把握しつつ、宿泊体験を実施しました。

〔宿泊体験実習 利用実績〕

利用者 2人 / 利用日数 9泊18日 / 職員同泊同行等支援 2日

③障害福祉サービスの活用

- ・必要に応じて本人や家族と相談支援事業所との仲立ちとなり、「障害福祉サービスの活用」につなげ余暇や生活面でも豊かな生活につながる事を大切に出来るようすすめました。

5. 緊急時の対応

緊急時の対応をする案件はありませんでした。

6. 事故発生時の対応

日付	事故等の発生状況およびその後の経過（損害保険利用状況等）
5月17日（金）	下里出張所への移動の際、ハイエースを駐車しようとして助手席側後方をブロックにぶつける。後方のバンパー修理対応。
6月3日（月）	利用者が送迎の降車時に荷物につまづき転倒し膝を3針縫う怪我をする。（降車時に大量の荷物を運びバランスを崩すため、作業所の荷物は職員が運搬することにする。事前の注意喚起を行っていたが、声かけだけでなく、見守りや移動の動線確保を徹底する。）
2月3日（月）	体調不良による嘔吐の際、水道の蛇口で目の下をぶつけ擦り傷を負う。（受診同行し、消毒処置を行う。）
3月19日（水）	取り組みで歩行中、つまづいて膝と手をついて転倒。膝に軽い擦り傷を負う。（グループホームと情報共有を行い見守ってもらう。）

7. 虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成 1名

【虐待案件】 0件

【身体拘束発生案件】 0件

8. 苦情解決実績報告

苦情の案件はありませんでした。

9. 職員（援助者）の援助技術の向上

(1) 職員会議の実績報告

・支援職員全体会議	→	1回開催
・職員会議	→	24回開催
・個別支援計画策定会議	→	21回開催
・モニタリング会議	→	23回開催
・給食会議	→	12回開催

(2) 職員研修の実績報告

【内部研修】

日程	主催	研修内容	講師	参加人数
5月2日	いなほ作業所	コミュニケーションの苦手な子どもたち・こだわりの強い子どもたち	浜松学院大学短期大学部教授 志村浩二先生	5名
6月18日	いなほ作業所	いなほ作業所の現状とこれからに向けて	いなほ作業所 長尾淳司	6名
6月29日	法人	虐待防止・人権擁護伝達研修 後日 伝達研修	福社会職員	18名 5名
7月16日	いなほ作業所	弁護士会防災意見交換会、地域連携の在り方について	いなほ作業所 平澤学	6名
8月6日	いなほ作業所	わされん活動と組織課題について	いなほ作業所 平澤学	6名
9月3日	いなほ作業所	きょうされん賛助会員を広げる意味について	いなほ作業所 平澤学	6名
9月17日	いなほ作業所	虐待防止の手引きについて	いなほ作業所 長尾淳司	6名
9月19日	法人	防災教育と業務継続計画の周知	那智勝浦総務課防災対策室 藤社祐樹氏 汐見一希氏	6名
11月20日	法人	保育現場で活かす接遇スキル	セブンドリームスグループ 一井氏	6名
1月7日	いなほ作業所	防犯チャートについて	いなほ作業所 平澤学	6名
2月4日	いなほ作業所	わされん防災学習会について	いなほ作業所 平澤学	6名
3月18日	いなほ作業所	新東障連職員研修「能登半島支援報告」	いなほ作業所 平澤学	6名

【外部研修】

日 程	主 催	研修内容	講師等	参加人数
7月6日	和歌山弁護士会	弁護士会防災意見交換会	和歌山弁護士会	1名
7月25日	わされん	熱中症緊急学習会	那智勝浦町消防本部職員	1名
11月8日9日	きょうされん	全国大会 in 滋賀	きょうされん	2名
11月21日	きょうされん	「未来カフェ」防災について	各種講師	1名
1月19日	社会福祉士会	社会福祉士会基礎研修1	各種講師	1名
2月1日	わされん	防災学習会	わされん防災委員会	3名
3月1日	NHK	NHK わが町のインクルーシブ防災	NHK 各種講師	4名
3月8日	わされん	作業所問題研究交流会	わされん各種講師	2名
3月12日	セルフ	近畿社会就労センター職員研修会	セルフ各種講師	1名
3月15日	新東障連	防災研修	新東障連各種講師	3名